

# FINALIST

ファイナリスト

FINALIST

01



## 空き家を活用した アフォーダブル賃貸住宅事業

株式会社ヤモリ  
代表取締役 藤澤 正太郎

埼玉県内で賃貸需要が見込める空き家を選定して再生し、長期で賃貸物件として維持管理していく事業。空き家を活用することで工事費を抑え、低廉な賃料で質の高い賃貸住宅を家族世帯向けに提供する。

FINALIST

02



## 過熱蒸煎機を用いた かくれフードロスの削減及び アップサイクルフード市場の創出

ASTRA FOOD PLAN株式会社  
代表取締役 加納 千裕

わずか10秒で食品を乾燥・殺菌する装置「過熱蒸煎機」を開発。食品工場で発生する食品残さや、規格外品などの未利用農作物等を風味を豊かな食品パウダー「ぐるりこ®」にアップサイクルし、「かくれフードロス」解決に取り組む。

FINALIST

03



## 醤油粕アップサイクル燻製材 meets 彩香の燻醤 がっこいぶりの生ふりかけ ~漬物ロスゼロ化を目指して~

Smoke-i-freet  
代表 辻 健太郎

木材入手リスクに着目し、廃棄醤油粕で燻製材を開発。今回は木材を凌ぐ性能を証明し、新たな可能性ロングライフを発見。彩色不良・賞味期限で廃棄される漬物に醤油粕燻製で新たな価値を！ダブルサーキュラーエコノミーでCSUPにカムバック!!

FINALIST

04



## スマートゴミ箱からはじまる “街の資源循環ステーション”

株式会社フォーステック  
代表取締役社長 竹村 陽平

SmaGO導入を起点に、街ゴミを適切に管理しながら資源循環を促進する取り組みです。“地域のハブ”となる大学キャンパスでの実証プロジェクトから始め、学生・地域住民・自治体・地域企業等を巻き込みながら共創ムーブメントを拡げていきます。

FINALIST

05



## 『エシカルリノベーションシティ 埼玉』の実現— 建築資材ロス 削減と資源循環文化の創造 —

HUB&STOCK株式会社  
代表取締役社長 豊田 訓平

「建築資材ロス」となる余剰建材を買い取り、検品・保管・販売まで一貫対応。埼玉県から年間100トン超を再流通させ、廃棄を価値へ転換。SNS発信と専門人材販売を融合し、環境配慮と経済性を両立する“エシカルリノベーション文化”を創出。

FINALIST

06



## 運ばず、燃やさず、資源化する 『JOYCLE BOX』

株式会社JOYCLE  
代表取締役社長 CEO 小柳 裕太郎

人口減少により焼却炉・ドライバー不足が進み、ごみを運ばず燃やせず運ぶコストも上昇し続けています。ごみをデータ可視化しつつ「運ばず、燃やさず、資源化」する分散型IoTインフラ「JOYCLE BOX」で資源と喜びが循環する社会を創造します。

FINALIST

07



## 廃棄プラスチックの バイオリサイクルによる サーキュラーエコノミーの実現

株式会社Enzyme Labo  
代表取締役 濱松 一弘

微生物・酵素を活用し、県内工場で発生する廃棄プラスチックを工場内で有価物に再資源化します。サーキュラーエコノミーを実現する過程で、廃棄物による環境負荷を低減し、輸送に伴う費用やCO2も削減しながら収入を得るプランです。

FINALIST

08



## .Garbon

株式会社Gab  
代表取締役CEO 山内 萌斗

独自の炭化技術を使い、プラスチックや衣服、食料残渣など、従来は焼却されていた有機系廃棄物を炭の粉末へと変換。人工皮革をはじめとする多様な“選べる素材(再資源)”へと生まれ変わらせる新循環ソリューション「.Garbon(ガーボン)」